

リーダーはいかにあるべきか

知事に就任して初めて編成した当初予算案を県議会に上程しました。無事可決されれば、これを県のリーダーとして新年度から執行していくことになります。また、政治家や企業経営者がリーダーとしていかにあるべきか、日頃から報道などで議論がなされています。そこで、私が「リーダーはかくあるべし」と常に心掛けていることをご紹介します。

一番大切なのは、リーダーが掲げる方針が社会や経済のニーズに合致していて、組織の目指すべき方向性として正しいかどうかということです。これが間違っていれば、リーダーシップの発揮はむしろ有害となります。政治家であれば、これを選挙の公約として掲げ、有権者の審判を仰ぎます。

それを実行する段階では、次のようなことを心掛けています。

- 決断は速く、そして一度決めたらぶれない。
- 決断に悩む時は信頼できる人に相談し、一人で決めない。
- リーダーが率先垂範して、組織を動かす。 ● 細かいことは部下に任せ、過度に干渉しない。
- 人に対しては、常に丁寧に謙虚な姿勢で対応し、約束は必ず守る。
- 理不尽な要求は断固としてはねつけ、相手にしない。

私自身、実践できていないことも多々ありますが、37歳から市長を務めた自分の経験から得た教訓です。引き続き、県政運営を見守っていただきますようお願い致します。



奈良県知事
山下真

毎月11日は人権を確かめあう日 人権 コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

先生との再会から

先日、小学生の頃の担任の先生と出会う機会がありました。約25年ぶりの再会でした。

その先生は授業も分かりやすく、休み時間にたくさん遊んでくれる、すてきな先生でした。特に印象に残っているのは、先生がよく新聞記事を紹介していたことです。記事は、全盲のピアニストの話、戦争や平和、世界の文化などさまざまな分野から選んであり、小学生だった私は先生の話聞くのが大好きでした。先生は、話の終わりに必ず「みんなはどう思う?」と尋ねました。そして「本当のことを知り、今自分に何ができるかを考えることが大切だよ。」とっていました。

今振り返ると、先生は記事の紹介を通して、世の中の

さまざまな課題に気付くこと、その解決に向け主体的に考えることの大切さについて伝えていたのだと思います。自ら学び、考える力が求められる時代。私も先生のように、子どもたちに身の回りにある課題に気付き、考える機会を与え、子どもたちとともにその解決に向けて行動していきたいと思っています。

今月のポスター



桜井市立初瀬小学校3年
みのわ こほる
箕輪 心春さん



桜井市立三輪小学校3年
なかばやしりく
中林 陸さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

アンケート & プレゼント

4月号のプレゼント

奈良の木こり コースター



デジタルに親しむきっかけに電子書籍版「県民だより奈良」を読んでみませんか。電子書籍版を読んだ感想をe古都ならで回答された方の中から抽選で10名にプレゼントが当たります!

回答・応募はこちらから



締め切りは
4月30日(火)

※4月1日以降応募できません。

※ご提供いただく個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

※「県民だより奈良」への感想やご意見は引き続きハガキでも受け付けています。